

平成 29 年 12 月 稲荷山図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 12 月 22 日（金） 13 時 50 分から 14 時 30 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 稲荷山図書館指定管理者（株式会社ヴィアックス）（以下「稲」） 稲荷山図書館長、同館業務従事者、本社スタッフ（2）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光）1 月から 2 月に実施予定のエレベータ更新工事について、音が発生することや工事スケジュール等について、掲示等含めて、利用者に丁寧に案内してほしい。 →（稲）承知した。</p> <p>（光）会議室で発生した、利用者の「せき」に関する苦情について →（稲）「マスク着用のお願い」の貼り紙を会議室に貼って、マナー向上の啓発を行っている。書架には貼り紙はしていない。</p> <p>② 一般事業について</p> <p>（光）10 月に実施した高齢者施設への読み聞かせについて →（稲）敬老館は高齢者の中でも比較的若い方が多いが、その他の施設利用者は、基本的には図書館への来館が困難な方である。特別養護老人ホームである「やすらぎの里」は今回初めて実施したもので、継続してほしいとの声をいただいている。</p> <p>（光）10 月に実施した「読書の秋キャンペーン」について →（稲）中里郷土の森との連携事業。図書館で自然に関する資料を借り、郷土の森に持っていくと記念品としてポストカードをプレゼントするもの。記念品の配付は 7 枚と振るわなかった。両施設間を歩いていくには少し距離があり、子供たちには難易度が高く、参加しにくい事業になってしまったと反省している。</p> <p>今後は、例えば、郷土の森や憩いの森に集合し、その後、図書館に来て何かをする事業など、子供たちが参加しやすく興味を持ちやすいプログラムを考えていく。</p> <p>（光）10 月に作成した「環境に関するパスファインダー」について →（稲）毎年 5 月から 6 月にかけて、環境に関する展示を行っている。今年度の展示では、家庭でも出来るエコ活動を利用者参加型で行ったが、その反響を踏まえて作成した。来年度の展示にも使用する。パスファインダーは、今回の他に、健康に関するもの、YA 向けに進路に関するもの、児童向けに昆虫に関するものを作成しており、それぞれの書架やコーナーに置いて、持ち帰りが出来るようにしている。</p> <p>（光）昆虫資料のデジタル化について今後の予定は。 →（稲）昨年 1 月からデジタル化した昆虫資料を公開しているが、今後、閲覧できる資料をさらに増やす予定である。</p>

③ 児童サービス事業について

(光) 10月に実施した「はじめてのこども手話教室」について

→ (稲) 一般の方を対象にした手話教室は昨年実施したことがあるが、子供を対象としたものは初めて。一般向けの講座に子供の参加者が多かったため実施した。今回は小学校中学年の参加者が多く、学校の授業でも習うようで、手話について詳しい子が多かった。

(光) 学校支援モデル事業について、小学校と中学校を比較すると、どうしても中学校の学校図書館利用が少ない。

→ (稲) 例えば、八坂中学校では、学校図書館の利用が昼休みだけだったり、学年によって利用日が決まったりしている。こうした学校の状況が貸出等の利用が少ない原因となっている。

(光) 11月に実施した「八坂の集い」への参加について

→ (稲) 11月3日の祝日に八坂小学校で行われたイベントに図書館として参加したもの。絵本や紙芝居の読み聞かせ、工作教室を実施したほか、除籍資料のミニリサイクル市も行った。

イベント自体は校庭で行われ、図書館の催しのみ校舎内での参加だったため、子供たちが足を運んでくれるか心配だったが、工作教室もすぐ埋まり、リサイクルの本もすぐに無くなるなど大変好評だった。

④ その他

(光) 利用者アンケートについて。まずは、昨年度のアンケート結果に対する改善策について振り返ってほしい。

→ (稲) 昨年度はアンケートの結果を受けて4点を改善項目として掲げた。カウンターの並び方の明確化では、足形のシールを床に貼って1列に並んでいただくようにした。また、新着本紹介のご要望については、貸出後はすぐ書架に戻すのではなく、二か月間は新刊本の設定をして、新着棚に配架する方法に変更し、多くの方にご覧いただいている。接遇の部分では、接遇研修を行った上で、笑顔で穏やかな対応を心掛けた。一方で、雑誌の充実については5誌程度の新規導入を図りたかったが出来なかった。これについては30年度の導入を目指している。

(光) 今年度の利用者アンケートの結果に基づく改善策について。

→ (稲) 図書館で実施する事業については、いただいたご意見を参考に各世代別の事業を考えていきたい。特に、利用の多い高齢者以外の世代を呼び込めるような事業を検討していきたいと考えている。併せて館の特徴である昆虫に関する事業については、中里郷土の森等、近隣施設との連携事業を充実させていきたい。